

## 令和6年度 子どもの貧困対策連絡会議 報告

### 1 開催日時及び会場

- (1) 日時 令和6年10月4日(金) 午前10時～午前12時
- (2) 会場 さいわいプラザ6階大会議室

### 2 出席者

山川委員、八木委員、内藤委員、太田委員、宮下委員(子ども・子育て会議委員)  
 中越教育事務所、長岡市社会福祉協議会、長岡市パーソナル・サポート・センター  
 こどもみらい食堂、小池アドバイザー  
 生活支援課、福祉課、学務課、学校教育課、保育課、子ども家庭センター  
 子ども・子育て課 職員23名

### 3 会議内容

- (1) あいさつ
- (2) 長岡市の子どもの貧困とヤングケアラーの現状について
- (3) 各支援機関の現状と連携の課題について
- (4) アドバイザーの講評



課長あいさつ

### 4 議事

- (2) 資料No.1～4について説明。  
意見・質問等無し。
- (3) 資料No.5について、支援団体、市の担当課から説明。  
子ども・子育て委員からの意見等
  - ・かつては貧困が疑われる事例があったが、近年はほとんどない。見えないがたくさんあるのではないかと、園に戻ったらもう一度見直してみたい。
  - ・実感として貧困に結びつく事例は保護者の精神疾患からくる事例が多いように感ずる。子育てに迷い、そこに子どもの発達特性がからむと問題が複雑化する。送迎時に保護者と会えるが、家族でもいろいろな方が来園するので、家族間の人間関係もあり、送迎時の声掛けに気を遣う。現在、諸経費の遅れはほとんどないが、虐待に関わり、体の傷の有無を丁寧に見ている。
  - ・学級担任が子どもの様子を見ていて気付くことが多く、毎日同じ服を着てきたり、ズックがボロボロのままだったりした場合、保護者に一声かけている。しかし、親がメンタル的事情をもっており、改善が無い場合がある。そのような時、関係機関に間に入ってもらい、親に改善を促している。担任と保護者との関係を崩すことなく対応できており、助かっている。
  - ・要保護、準要保護の家庭の割合がこの5年間で微減している。支援体制が有効に機能していると考えられる。かつては、諸経費の未納分を卒業間際に納入したり、卒業後やっと納入したりする家庭があったが、近年無くなってきた。
  - ・主任児童委員として担当する学区の学校から諸経費の未納の相談を受けることが最近無くなった。また、地域での問題事例について学校に情報提供することがあるが、その後どうなっ

たのか、フィードバックで情報をもらうことがほとんどない状態である。

#### (4) アドバイザーの講評

- ・国民生活調査によると、子育て世帯の収入はやや増えているが、保護者の生活感の困難さは変わっていない。この背景に何があるか考えると、もちろん物価高もあるが、子どもが地域コミュニティのつながりに参加する機会を経済的困窮が妨げていることがある。例えば 10 回出られたところが 8 回になるなど、この小さな積み重ねが大変さにつながっている。
- ・就学援助の申請がスマホからできるようになったのは一つの改善である。スマホから手続きすることが浸透してきたおかげである。
- ・身体的虐待、性的虐待では、子どもは保護される。心理的虐待やネグレクトはじわじわと子どもに影響を与える。親の養育力は全くないわけではないので、支援する側は介入が難しい。むしろ、保護者の持っている力をどう引き出すかが鍵となる。そういった意味で、経済的支援を通じて保護者を支える必要がある。これらの支援をどう充実させていくか、子どもナビゲーターの報告資料から明らかに読み取れる。
- ・[ヤングケアラーについて、配布した資料を基に説明があった。]いつも家族のことが心配で、自分のやるべきことに専念できない状態にある子どもを、ヤングケアラーととらえている。
- ・関係機関からの報告を聞いていて、複雑化している家庭の状況から連携が必要と感じた。複雑化しているケースについては、大人側の支援とどうつなげていくかが鍵となる。大人側で生じている問題を解決していくことが、結果的に子どもの生活保障につながる。顔が見える関係、お互いの専門性が見える関係、相手の専門性を信頼する関係をつくっていくと連携が手厚くなる。
- ・家庭に介入する支援が子どもの家庭福祉分野では弱い。長岡では、養育支援訪問事業、子育て世帯訪問支援、ファミサポ、ボランティア銀行の 4 層構造になっている。養育支援訪問事業は非常に支援度が高い家庭に対して専門職が訪問する事業、子育て世帯訪問支援は、そこまで専門性が高くはないが、家事、育児支援をやっていく事業である。これらの支援のどこをどう使うのかを誰がどの段階で決めるのか、検討していただきたい。また、これらのサービスは保護者が決定しないと使ってもらえない。保護者が判断することができるよう支援してもらおうとありがたい。



会議の様子



アドバイザーの講評